



熱情のこもつた情を成に接し、思はず感涙が溢りました。
此のほど、幸内人たり、君、藤白四郎、君及び書下の年
当を頂戴、おとし、孤獨の身の心強、いよいよ気が致し
ました。

層心の書を上りて、甚事に、概概を書送るその報は、飛立の
斗り、うれしく、感ずして、年つて居り、さう、併し、年未
多忙の際、さう、マキト、もして居らん。

身体が大車だから、勉強も徐々にして精神は安態に養
つて居る、こゝへ来て、ソレ、か従来、の修養が、駿を、示して、事
たゞ、だ。

多忙の際、恐れ、るが、僅宜が、その、今日、書下へ、宛下書を送
つた、た、おれ、かに、頼んで、受取つて、貰えた、此、既、既、書は、新、村、君、の、た、
父、と、よ、は、保、子、を、ある、が、お、れ、に、届、け、て、ソ、レ、さ、き、た、此、

書下の注意、おめ、し、知、れ、た、書、籍、の、監、下、に、な、ら、な、い、と、と、
聖書は、自、ら、の、お、れ、あ、ら、か、ど、書、下、の、お、れ、は、お、れ、し、す、ら、今日、は
お、れ、あ、ら、か、ど、お、れ、し、す、ら、今日、は、聖、書、の、注、釋、は、お、
れ、て、く、お、れ、ま、へ、

書下が、初めに、お、れ、た、と、云、ふ、文、藝、書、類、は、お、れ、知、ら、せ、か、て、い、何、と
云、ふ、本、だ、か、知、ら、し、て、下、さ、い、酒、へ、て、見、る、か、ら、

幸内、藤白、坂本の、流、れ、は、任、所、が、知、れ、ん、で、年、次、が、出、せ
ん、か、ど、書、下、の、お、れ、し、く、申、し、て、下、さ、い、

吉田、年、次、に、面、會、し、て、頼、ま、を、治、し、た、今、後、と、も、向、く
諸、君、の、尽、力、を、頼、み、福、田、姉、も、宜、しく、
宛、下、は、さ、ら、さ、ら、か、早、く、受、取、つ、て、下、さ、い、新、し、い、本、が、濟、め、ぬ
か、ら、お、れ、知、ら、し、て、お、れ、ま、へ、

十二月

十四日

内山鬼三

石川三四郎様



東京券下
 渡橋町海部出
 七三八 福田下
 石川三郎 煤

東京券
 牛込区
 富久町
 百廿七番地
 丙 1215



71
 6204
 12